



山口市

報道資料

(No. 1)

令和3年 3月11日

| | |
|-------------|--|
| 1 件 名 | 「 ^{みょうかんじいはいどう} 妙鑑寺位牌堂」国登録有形文化財へ (国文化審議会の答申) |
| 2 日 時 | 令和3年3月19日(金) 17時 |
| 3 場 所 | 妙鑑寺(山口市大内矢田南八丁目18-1) |
| 4 内 容 | <p>3月19日(金)に開催される国の文化審議会(会長:佐藤 信)は、文部科学大臣に対して、「妙鑑寺位牌堂」を国の登録有形文化財(建造物)に登録するよう答申する予定です。</p> <p>本市の登録有形文化財(建造物)の答申は、平成28年3月の「旧桂ヶ谷貯水池堰堤」に続く10件目となります。県内では、令和2年11月の「瑞松庵山門」(宇部市)に続くもので、103件目となります。</p> <p>「妙鑑寺位牌堂」は、大正10年に建設された煉瓦造の位牌堂で、煉瓦造の躯体が境内に異彩を放つ建造物として評価され、今回の登録答申となりました。</p> |
| 5 問 い 合 わ せ | 山口市教育委員会文化財保護課(担当:丸本) TEL 083-920-4111 FAX 083-920-4112 E-mail bunkazai@city.yamaguchi.lg.jp 宗教法人 妙鑑寺 TEL 083-927-1236 |



山口市

報道資料

(No. 2)

令和3年 3月11日

6 妙鑑寺位牌堂について

①所在地 山口市大内矢田南八丁目53番地

②所有者 宗教法人 妙鑑寺

③建設年代 大正10年(1921)

④概要

妙鑑寺は、大内地域に位置する曹洞宗の寺院です。大正9年(1920)に火災に遭い、山門以外のほとんどを焼失しましたが、翌大正10年(1921)には再建されました。位牌堂はこの時に建設されたもので、耐火性に優れた煉瓦が採用されたのは、火災からの復興にあたり、大切な位牌を火から守るためであったと言われています。

建物の構造は、桁行17m梁間5mの細長い煉瓦造平屋建で、屋根は寄棟造赤色棧瓦葺、屋根の中央には天窗の役割を果たす塔屋が載っています。

本建物は、美しい色彩と耐火性を兼ね備えた「煉瓦」という近代の建築材料の採用、大壁と赤瓦屋根にこじんまりと載った塔屋とのシンプルな空間構成により、仏教施設としては珍しい外観を誇っています。その姿は周辺住民にも広く親しまれており、この地域特有の美しい景観を形成してきたと言えます。





山口市

報道資料

(No. 3)

令和3年 3月11日

7位置図

